



THE ROTARY CLUB OF MIYOSHI CHUO

三次中央会報 ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrc.server-shared.com

例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル

例会日 / 月曜日 12:30 ~ 13:30

2023-2024 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

- 本日のプログラム クリスマス家族会
- 次回例会日時 2024年12月23日(月) 12:30~
- 次回プログラム ゲスト講演 / 社会奉仕委員会担当
中川裕美様

会長 / 光 永 義 則
幹事 / 中 西 佳代子

●2024~25年度 国際ロータリーのテーマ



●2024~2025年度 三次中央RCスローガン
和敬で繋ぐ奉仕活動



■第1444回例会記録

- 日時.....2024年12月9日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ソング「我らの生業」.....全員
- 「DEI」唱和.....全員
- ゲスト紹介

三次いしだたみ子ども食堂運営会 代表者 片岡幸治様

■開会挨拶.....光永会長

出合いは不思議なものですネ！

本日の例会は、職場例会で「三次いしだたみ子ども食堂運営会」代表の片岡幸治様にお世話になり開催する事ができました。大変お世話になります。また、事前対応等では青少年奉仕委員会 沈 委員長にプログラムを計画していただき有難うございました。

私事ですが、代表者の片岡様は、私が現役時代約30年前になります。隣の「みどり信金三次支店」に勤務していたとき始めてお会いしたことが思い出されます。実に未来感があり、「町や村づくり」のリーダーになれる方と感じたことが思い出されます。

後の講演ではよろしくお願い致します。楽しみにしております。

RCは奉仕団体であります。片岡様の講演を聞かせてもらい会員各位が奉仕に繋がることを発掘される機会になり、本日の職場例会で何か一つでも感じ取れることを目的にしたいと思います。よろしくお願い致します。以上会長挨拶とします。



■米山功労者表彰.....

第7回米山功労者…沖東洋治会員
第6回米山功労者…平田博紀会員



■幹事報告.....中西幹事

- 12月16日はクリスマス家族会です。欠席の方も、会費をお願いいたします。
- マイハートコンサートのチラシを配布しています。
- ゴルフ同好会の収支表を回覧しています。

■出席報告.....石田委員長

●第1442回11月25日

会員数	36名	Make-up	0名
欠席	3名	出席合計	33名
欠席者のうち規定免除	2名	出席率	97.06%

- Make-up
- 第1444回 本日の出席は35名中28名です。

■青少年奉仕委員会.....沈委員長

きょうは青少年担当委員会の職場例会です。
きょうの流れをご説明します。セルフサービスです。入り口に近い方から自分で持ち帰ってください。おかわりは自由です。物々交換などのコーナーがありますが、きょうは雰囲気だけ作っていただいています。
また、本日使用する、スプーン、箸、フォークなどはグランドホテルさんの協力をいただきました。ありがとうございました。

■SAA.....酒井SAA

- 会員ニコニコBOXへご出宝
光永君 片岡様本日はよろしくお願ひします。(大口)
沈君 本日は青少年奉仕委員会担当の職場例会です。よろしくお願ひします。(大口)
山縣君 忘年杯ゴルフ、優勝させていただきました。ロータリーを通じて諸先輩方とゴルフを楽しめて最高に幸せです。(大口)
上田君 ゴルフ同好会忘年杯お世話になりました。本日の職場例会、お世話になります。(大口)
山崎君 片岡さん、お世話になります。山縣さん優勝おめでとうございました。(大口)
熊本君 片岡さんよろしくお願ひ致します。
平田君 米山功労者表彰いただきました。
和田君 子ども食堂、楽しみにしていました。
「職場例会、お世話になります」
沖君、杉谷君、安藤君、信国君、中西君、松本君、井上君、栗本君、小根森君、酒井君
ニコニコBOX本日出宝額 34,000円

ゴルフ同好会 忘年杯

2024年12月5日(木)
庄原CC



おめでとうございます

- 優勝 山縣 隆
- 準優勝 重信 優
- 第3位 信国 秀昭
- 第4位 杉谷 優治
- 第5位 武口 純也



国際ロータリー第2710地区 G-12
三次中央ロータリークラブ

本日は、三次いしだたみ子ども食堂での職場例会です。

子ども食堂は、子ども達を中心とした子どもたちのことを考える場です。子どもだけで参加でき安心できる場です。有料ですが大人も参加できます。子どもと一緒に過ごして下さいということで活動されています。

私自身は、11月に初めて参加しました。毎月1回開催されているということですが、そのときは200人くらい参加されて、今日のように参加者が流れながら食事をされていました。本日よりもっとたくさんの物があって、レトルトカレーや卵10個パックのお土産もあって、これを300円で貰うのが大変恐縮でした。が、募金箱があったので妻と一緒に募金して帰りました。

片岡さんは、フードロスの問題にも対応する組織にも参加しておられますので、会員の方も片岡さんと相談しながら協力できることもあるのではと思います。それぞれ思うところあると思いますので、協力の仕方をお考えいただければと思います。



沈勝義青少年奉仕委員長

子ども食堂のお話



三次いしだたみ子ども食堂
運営会
代表者 片岡幸治

みなさんこんにちは。以前市役所に勤めていた時、中央ロータリークラブの例会にゴミの問題でお話したことがあるので、今回が二回目です。きょうは子ども食堂についてお話しさせていただきます。

自己紹介ですが、「つるちゃん」と呼んでいただいています。私は25歳で三次に来たのですが、その時は片岡鶴太郎が人気で、片岡つながりで「つるちゃん」ということになりました。

さて、子ども食堂にはどんなイメージがありますでしょうか。貧困家庭の子だけが行かれる食堂ではもちろんありません。「子どもだけでも行かれる食堂」というのが正解です。子どもだけで気軽に来れて安い食堂を目指し行っています。

法律上はどんなものかという、公的な決まりは一切ありませんので、どんな食堂でも「子ども食堂」を名乗ることが出来ます。

広島子ども食堂支援センターの定義では、非営利、非限定、交流の場、ということをお前提にしています。

1番目の非営利ですが、あくまでもボランティアで運営しています。利益、収益を目的にしておりません。

2番目の非限定は、誰でも来て頂くことが出来ます。ただし、名簿は作成をするようにしています。保健所からの指導で、何かあったときの連絡のためです。

3番目は交流の場ということで、食事は手段であり、交流して頂くのが目的です。

全国的にもほぼこれと変わらない定義になっています。

こども食堂の数はどれくらいあるかご存知でしょうか？全国では、実は、去年のものが、9,100食堂あります。今年はおそらく1万を超えるかもしれません。広島県では約205食堂です。

子ども食堂の歴史は新しく、2012年に東京都大田区の八百屋の一角で近藤さんが地域サロンと子ども食堂をつくったのが初めてで、また、出雲出身であったため、名前が「だんだん」と名づけられました。

その後2014年に、栗林さんという方が池袋で子ども食堂をしました。これがテレビに取り上げられ一気に有名になりました。このときは、テレビで「こどもの貧困」として取り上げられました。次は、湯浅誠さんが、全国子供支援センター「むすびえ」をされています。年越し派遣村の代表もしておられました。子ども食堂=貧困というイメージがあるのはそういった影響もあるかと思えます。しかし、今は貧困のためではなくて、交流の場と

ということでCMもしています。はるな愛さんと、孤独のグルメの松重さんが出られて、子ども食堂と貧困のイメージを切り離すようにしています。

目的は交流の場なのですが、結果として困った方のお手伝いをしてもらえる子ども食堂がたくさんあります。うちでもフードロス、農水省の事業を利用してお米をもらって子どもさんの家庭に持って帰ってもらうということもします。去年は3トンでした。目的と結果がすり替えられて、子ども食堂=貧困対策というマスコミの取扱易さがあったのだと思います。

たしかに、貧困対策とすると支援は増えます。しかし、来る人は減ります。「貧困対策ですよ」と言われると、来られる方は少ないのです。開けたけどどうして来てくれないのか、という相談が子ども食堂支援センターにも来ます。こういうジレンマを抱えることになります。

私たちは発想の転換をしまして、敢えて目的を明確にしないようにして、来る方々にはそれぞれの目的で来ていただくということにしました。たまにはクラス替えした後の友達と遊びたいとか、スタッフと接したいとか、ボランティアをしたいとかでもいいです。毎回20人くらいが協力してくれますが、中高生のボランティアも、小学生のボランティアも10名くらいいます。お腹いっぱい食べたい、ということでも、オールオッケーです。

親、先生は上下の関係、友達は横の関係ですが、それだけでなく、斜めの関係、異学年のともだち、他の子のお父さんお母さん、スタッフなどの関係が生まれればいいかと思えます。恵まれている子どもにとっても参加する価値のあるのが子ども食堂です。保護者にとっては、ひとり親家庭、ワンオペ育児、月に一回食事の準備も片付けもしないで、子どもが他の人と遊んで楽しんでいるのを見られる場になる、保護者にとっても大変良い場所になります。

ボランティアにとってですが、子ども食堂は、

個人か、任意団体がほとんどですが、ボランティアができる場所としてあります。調理ができる方だけでなく、皿洗いや子どもの遊び相手、給仕など、何かできることがある場所です。そういう方のためにもボランティアの場になると思います。

私たちは、子ども食堂の事を大人の「〇〇」といいます。ここに入れるのは「部活」です。「大人の部活」です。自分のやりたいことをやるためにやる。月に一回くらいで、しんど過ぎず少なすぎず、たまに行ったら「よくきてくれた」と歓迎してもらえる場です。

地域にとって、仕事を退職して地域のためにする地域デビューの一步にさせていただくこともできます。

このように、色々の可能性がある子ども食堂ですが、社会性に加え、社会力を伸ばす場が子ども食堂です。ぜひ子ども食堂を利用して地域デビューをしていただければと思います。

県北には、庄原市に三つあります。安芸高田市も三つあります。三次市には五つあります。この11の子ども食堂でスクラムを組んで、協力し合っています。

資金は補助金・助成金、参加費、寄付金、自己資金が、3:3:1:3でしていますので、是非ともご支援をお願いします。

最後に鶴の恩返しの絵です。

子ども食堂は「つるちゃん」の恩返し、恩送りということで、やっております。本日も募金箱を置いております。よろしく願いいたします。

カレーライス、サラダ
デザート(りんご、
スウィートポテト)

